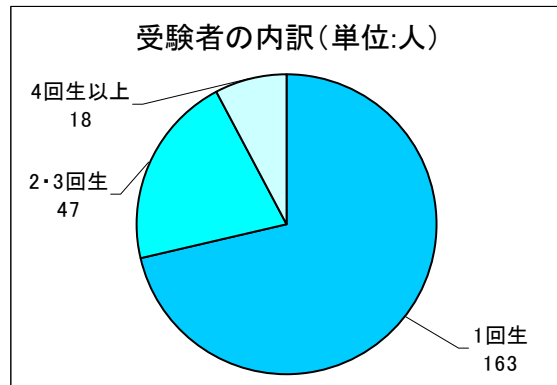


ミクロ経済学入門後期試験（2006年1月25日）

採点結果

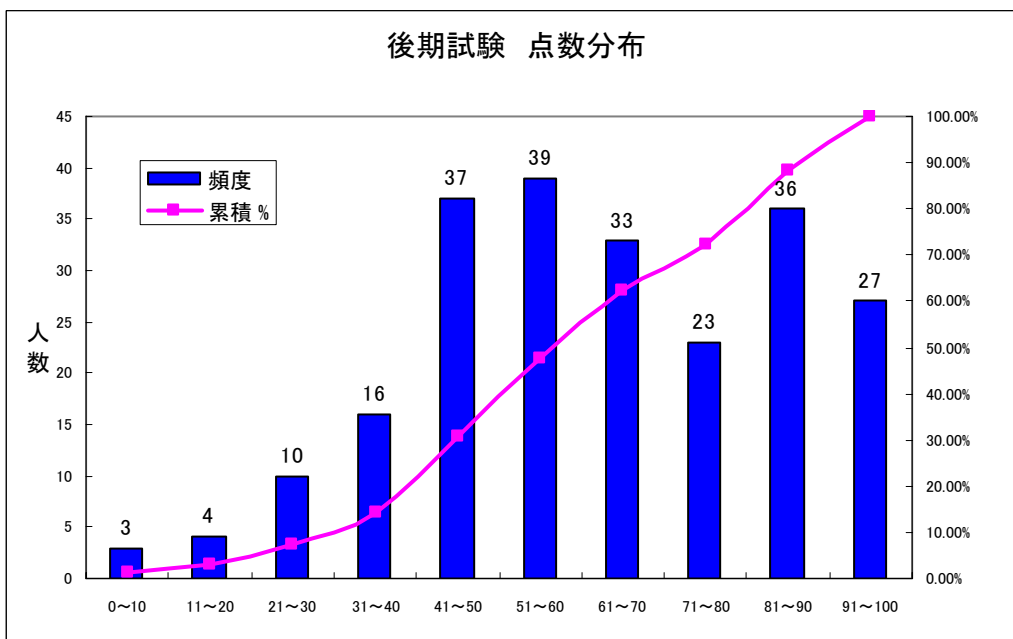
受験者数は228名。その内訳は、次のグラフの通り。



学年ごと、および全体の合格率、中位値、平均点

	1年生	2・3年生	4年生以上	全体
合格率(%)	61.3	66.0	61.1	62.3
中位値(点)	60	66	60.5	61
平均点(点)	64.1	64.6	62.6	64.1

得点分布



コメント：

51-60点と、81-90点の2箇所ピークがあることが特徴的です。

授業評価のアンケートによると、「問題が易しすぎた」という意見が多かったのですが、実際、普通に勉強した者にとっては易しすぎたでしょう。その一方で、合格率が60%程度にとどまったことから、かなりの数の学生がマイクロ経済学の基礎を身につけないまま進級することが懸念されます。授業方法については、「具体例をあげてほしかった」「練習問題を授業で取り上げてほしい」などの意見がありました。今後、授業を改善するために参考にします。

今後履修することになる、多くの経済学専門科目においてマイクロ経済学の知識は不可欠です。今回の試験問題は、マイクロ経済学入門で最低身につけてほしかった知識が凝縮されているので、2回生以降の「マイクロ経済学1・2」のためにも、もう一度復習しておいてほしい。